

恵庭子ども塾☆魚塾による体験学習

新井 雅博

平成 25 年 10 月 5 日（土）14 時 30 分～16 時において恵庭市教育委員会が主催する「恵庭子ども塾（魚塾）」が開催され、本塾に参加した市内の小学 4～6 年生の生徒達 21 名と引率者の方々が、さけます・内水面水産試験場を訪れ、体験学習を行いました。



写真1 全体写真

本塾は、毎年この時期に開催され、魚釣りや森遊びなど恵庭の自然をいっぱい楽しもうと題して開催されており、この日も午前中に島松沢にある 10 パウンドで魚釣り等の体験を行いました。この日は天気にも恵まれ体験学習には絶好の一日となりました。

水産試験場では、初めに講師役のさけます資源部佐々木義隆研究主幹と内水面資源部竹内勝巳研究主幹の 2 名の自己紹介がありました。



写真2 鱗標本作製を説明する様子

次に生徒達は 2 班に分かれて、それぞれ体験実習を行いました。さけます研究グループの佐々木研究主幹からは、サケの鱗から年齢を推測する方法について、ピンセットや実体顕微鏡等を使い、丁寧な説明がありました。



写真3 万能投影機使えるかな！

生徒達は真剣な眼差しで説明を聞いた後、実際に自分達で実習を行い、サケの年齢を推測しました。推定年齢が正解した生徒達は、ほっとした表情を見せていました。



写真4 説明を真剣に聞く生徒達



写真5 水槽内の魚を説明する様子

一方、研究グループの竹内勝巳研究主幹は、恵庭の川や湖で獲れる魚や蟹等について、その生態や特徴について、わかりやすく説明しました。また、生徒達は稚魚の内臓を解剖し、胃の内容物を顕微鏡で観察する等の実験を行いました。最近では、小学校の理科の授業でも魚の解剖実習や顕微鏡等を使用することが少なくなっていると聞き少し驚きました。



写真6 稚魚の解剖を行う様子

次に生徒達は実習後、施設屋外にある飼育池に移動し、サケの稚魚や成長したニジマスを観察したり、餌やりの体験を行ったりしました。魚の餌やりは、初めてのようで楽しそうに取り組んでいました。

(総務課 あらい まさひろ)



写真7 屋外飼育池での様子



写真8 魚に餌やりする様子